

I 国指定天然記念物

「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

1 馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト

平成29年11月から開始

○ケヤキから落ちた種子を
収集し、発芽させ、苗木の
大きさに生育したものを
再びケヤキ並木に捕植

種子の収集(本校生徒)

記者会見資料



平成29年11月29日

国内唯一の天然記念物を未来につなぐ 馬場大門のケヤキ並木 保護・更新プロジェクト

市では、本市のシンボルであり、ケヤキの並木として国内唯一の国指定天然記念物「馬場大門のケヤキ並木」を後世に継承するため、馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクトを開始しました。

このプロジェクトでは、ケヤキから落ちた種を収集し、発芽させ、苗木の大きさに生育したものを再びケヤキ並木に補植するもので、ケヤキの種の収集などは都立農業高校の皆さんに、苗木育成場所は大國魂神社にご協力いただき実施します。



馬場大門のケヤキ並木

府中市のシンボルともなっている「馬場大門のケヤキ並木」は、大國魂神社の参道で、かつては両側に馬場がありました。その起源は、今から1000年近く前の平安時代後期、康平5(1062)年、源頼義・義家親子が奥州安倍一族の乱を平定した帰路、戦勝を祝ってケヤキの苗を奉納したことに始まると伝えられています。現在、ケヤキ並木には134本の樹木があり、そのうち、ケヤキは120本あります。



I 国指定天然記念物

「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

2 ケヤキの種子の収集

平成29年12月13日付 朝日新聞

○府中市

「天然記念物なので、よそから無関係の木を持って来てはダメなので」

各駅停話 1080 京王線四 府中
t.sasahi.com/dugs

農高生がつなぐシンボル



作業服に地下足袋を履く篠塚姫さん(18)らが、黄色く色づいたケヤキ並木の根元で、落ちた小枝を拾い集めた。枯れた枝の葉の間から極小の種がぞくぞく。

作業するのは、並木の北端近くにある東京都立農業高校の造園部員たちだ。頭上からは高架の駅を出入りする電車の音が響く。

駅西側の高架下を南北に貫く大國魂神社の参道の両側に120本並ぶ、源頼義・義家親子が寄進したとか、徳川家康が植えた、など諸説ある。いずれにしても長い歴史がある。

ケヤキにも寿命がある。並木を守るため、枯れたら若い木を植える。でも、府中市は歴にぶつかかった。

「天然記念物なので、よそから無関係の木を持って来てはダメなので」

相談した先が農業高校だった。大島桜の種を学校で発芽させていた。ならケヤキも、と頼んだ。担当する造園部の挑戦が始まったのはこの秋。できれば来年は、市内の小中学校にも加わってもらおうという。

発芽から植樹まで約5年とされる。部長の吉田一哉さん(17)は想像する。「この種の木が並木に植えられたらすごいな」

農高生らが、街のシンボルに次の年輪を刻む。

(山浦正敏)

I 国指定天然記念物 「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

3 連携協定

令和3年3月5日(金)、府中市と東京都立農業高等学校との「国天然記念物馬場大門のケヤキ並木保護更新プロジェクト」に関する連携協定を締結



I 国指定天然記念物

「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

3 連携協定 令和3年3月6日付け 東京新聞

東京新聞 (第3種郵便物認可)

府中のケヤキ並木 景観保全へ

都立農業高と市 連携協定

国の天然記念物に指定されている府中市の「馬場大門のケヤキ並木」を地域が一丸となって守っていくため、近くの都立農業高校が五日、景観保全に向けた連携協定を市と締結した。生徒たちで取り組む苗木の育成などの活動に地元の小中学生らに参加してもらい、次世代の担い手も育てる。

国の天然記念物

市のシンボル、馬場大門のケヤキ並木は京王線府中駅西側の南北約六百メートルにある。平安時代に源頼義、義家親子が前九年の役での戦勝祝いに千本を寄進したとの伝説がある。一九二四年にケヤキ並木として唯一、国の天然記念物に指定された。

天然記念物になった当時は約六十本だった並木は、その後の植樹で約百二十本に増えた。ただ、樹齢を重ねたことや環境悪化による枯死、樹勢の衰えに加え、台風による倒木もあって最

近は数が減りつつある。都立農業高校の生徒たちは二〇一七年、落下した種を採取して苗木を育てる活動を始めた。現在も約四十人が取り組んでいる。枝が広がりすぎず、真つすくと

伸びているのが馬場大門のケヤキ並木の特徴で、市の担当者は「景観を保つには、同じ並木の種から育てた苗木を植えるのが最適だ」と話す。

現在は、二十本以上の苗木を育てている。今月二日は並木の南端近くで枯死して伐採されたケヤキの隣に初めて高さ約三メートルに成長した苗木一本を植えた。並木の歴史や保全活動について記した看板を設置し、九日に披露する。

小中学生参加へ

今秋からは、地元の児童生徒に、植樹した苗木の水やり、種の採取などの活動に参加してもらうことを計画している。斎藤義弘校長は「活動を通して、貴重なケヤキ並木があることを誇りに感じ、守り続けてほしい」と話した。

種から育てて補植したケヤキの苗木
5月5日、府中市で




馬場大門のケヤキ並木で種を採取する都立農業高校の生徒ら
2017年12月撮影

種を採取 ▶ 苗木育成 ▶ 植樹

小中学生
参加へ

I 国指定天然記念物
「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

4 植樹：令和3年3月4日(木)



I 国指定天然記念物
「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

4 植樹：令和3年3月4日(木)



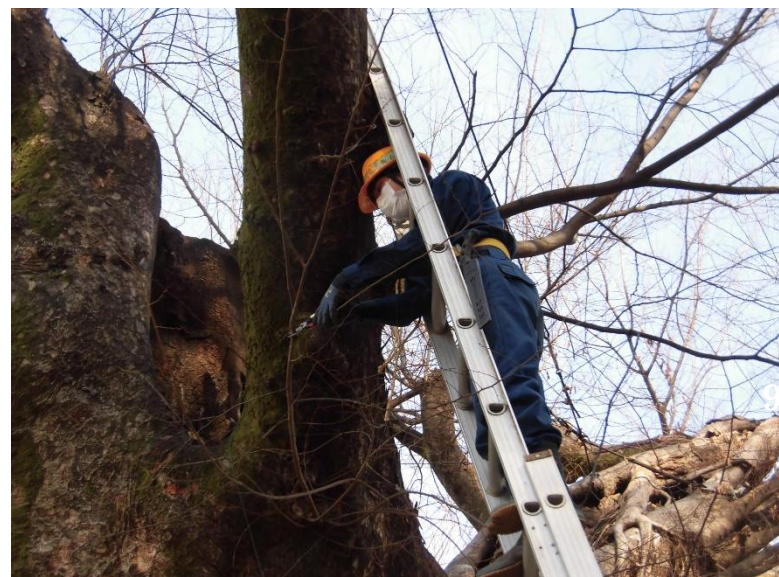
I 国指定天然記念物
「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

5 植樹式：令和3年3月9日(火)



I 国指定天然記念物
「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

6 接ぎ木による苗木の育成



I 国指定天然記念物
「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」

7 ケヤキ並木・・・府中市民が皆で守る

